

# 令和3年度 梅ヶ丘学園事業報告

【施設種別】 児童福祉法による児童養護施設

【入所定員】 60名

【子育て短期支援事業定員】 3名

児童福祉法の「家庭養育優先原則」の理念に沿う形で、令和2年度より社会的養護のあり方は小規模化・地域分散化、高機能化、多機能化に向け大きく舵を切った。この点を踏まえ、当園では地域連携や他職種間連携における集団養育の特性を生かした「誰もができる、誰に対してもできる」支援法を実践し、しくみを構築してきた。

職員は研鑽を重ね、実績を積み上げながらより高度な要請にも応えていけるよう努力していかなくてはならない。そのために取り組んできた内容は以下の通りである。

## 1 基本方針

愛知玉葉会の基本理念「愛するものは愛される」に基づき、子どもに「ありがとう」の感謝の気持ちを伝える協働の機会を演出していくことで、感謝と協働の相互作用の現れである「調和」を具現化に努めた。

基本方針実践のための4つの重点項目

- ・統一見解・統一対応によって、価値観の違いを乗り越えるように努めた
- ・業務の見える化によって自分の課題を自覚し、目標に向かって努力した
- ・子どもの権利擁護のもと、安心して安全な生活を送るための規律ある生活様式を皆で考え、皆で守った
- ・社会で生きていくための4つの自立を身に付けていけるよう努めた

## 2 事業内容

### 1 児童の生活に関すること

- (1) 自立のための生活習慣や技術を習得できるよう支援するために、現況調査票を基に、子どもと職員とでチェックしていき、強みと課題を明確にし、社会生活に必要な基本的な生活習慣を習得するように努めた。
- (2) 社会のマナー、ルール等を習得し、社会適応能力を身に付けた。
- (3) 身体の清潔及び衛生観念を養うと共に習慣化を図った。
- (4) 買い物、光熱水費の使用料等を通して経済観念の涵養に努めた。
- (5) 児童間の暴力やいじめを予防し、あるいは発生しても迅速に対応し、沈静化させていくためにセカンドステップや安全委員会方式を実施した。(セカンドステップ28回、安全委員会定例会3回・記念集会1回) また月1回子どもに聞き取り調査を行い、権利侵害を受けていないか等を確認し、予防及び早期発見に努めた。  
(聞き取り調査は全児童に対して、年12回実施、被措置児童虐待案件の聞き取り、性暴力案件の聞き取りそれぞれ1回)

- (6) 性的問題行動のない生活を構築するため、性教育プログラムを実施した。(外部講師による性教育を 12/29 実施、施設内性教育随時)
  - (7) 児童の自主性を尊重し、ホームごとの自治活動 (30 回) や高校生を主体とした高校生部会 (6 回) を開催した。
  - (8) 高校生にはアルバイトを奨励し、社会生活の経験を積む機会とした。(高校生 11 名中 8 名実施)
  - (9) 園内のクラブ活動を推進し、練習、試合を通して心身の鍛錬に励み、チームワークを大切にし、努力を認め自信につなげた。  
(ソフト・卓球・サッカーの大会に参加。マラソンクラブ施設内活動)
  - (10) 施設内において発表会の機会を設け、児童が演技や楽器演奏・ダンスを通して一致団結し、協働の精神を涵養した。  
(クリスマス会の時に、ホームごとの発表でお披露目した)
  - (11) 支援者側 (職員など) のノウハウを子どもにも教育し、職員・児童双方が共通の約束事として受容、実践できるようにした。
- ※子どもと職員とで話し合い、自立支援計画書の中で目標を掲げ評価した。

## 2 医療及び健康管理に関すること

医療的支援体制を強化し、健康な生活を送るために、

- (1) 児童の健康管理、服薬管理等医療的ケアの充実を図った。
- (2) 児童の平常の健康状態や発育・発達状況を把握した。
- (3) 健康診断、予防接種等を実施した。
- (4) 疾病の早期発見と早期治療に努めた。
- (5) 自己による健康管理を心掛け疾病予防に努めた。
- (6) 子どもとの共通認識を図り、園内における感染予防に努めた。
- (7) 職員や高校生に対し応急処置法を教育し、身の安全を守った。
- (8) マニュアルに基づき新型コロナウイルス等、感染症対策に努めた。

## 3 栄養及び食生活に関すること

食生活における理解と正しい習慣、作法、調理法を習得するために、

- (1) バランスの取れた栄養摂取に留意し、健康な身体を育てた。
- (2) 残食調査 (毎日)、嗜好調査 (年 3 回) を実施し、献立及び調理方法に反映させた。
- (3) 食事マナー (外食も含む) を習得すると共に感謝の念を培った。
- (4) 食材を購入し自分で調理したり (高校 3 年生を対象に延べ 8 回)、外食等を体験し、食への自立を図った。
- (5) 調理実習を行い、調理に関心を持ち技能を身に付けた。  
(ホーム調理：年 2 回、栄養士・調理師との調理体験：年 23 回)  
※ホーム調理は緊急事態宣言、まん延防止中は自粛した。
- (6) 田畑で米・野菜などを作り、食に対する関心や意欲を高めた。
- (7) 公設卸売市場に子どもたちを同行させて、競りなどを見学することで、流通の実情を学び、また規格外品を安く仕入れることで季節の果物などを味わうことができるようにする。(コロナ禍で中止)

#### 4 幼児の保育、教育に関すること

個々の発達状況を把握し、能力に応じた支援をするために、

- (1) 個々の発達能力に応じた保育教材を提供した。
- (2) 遊びを通して社会のルールを学んだ。
- (3) 言語、数等概念に関する遊びを通して学んだ。
- (4) 幼稚園・こども園に年少児から就園することにより、生活体験を豊かにした。(こども園 5 名・幼稚園 6 名)

#### 5 学習に関すること

基礎学習を始めとした学力向上のために、

- (1) インターネットなどの整備により学習環境を整え、通信教育などを利用しながら基礎学力の向上を図った。  
(寄贈のパソコン・タブレットを利用して、スクール TV と QUREO を導入した。)
- (2) 幼稚園、こども園、学校との連携に努めた。
- (3) 塾や学習ボランティアを活用し、学習能力の向上を図った。  
(学習塾 5 名、学習ボランティア 10 名)

#### 6 心理療法に関すること

臨床心理士を配置し、虐待等による心的外傷のため心理治療を必要とする児童に対して、

- (1) 遊戯療法、カウンセリング等を実施し、情緒の安定を図った。  
(対象 23 名)
- (2) 児童精神科医との連携を図った。(対象 1 名)
- (3) 自立支援計画書を基に、ホーム会議、コンサルテーションを通して直接処遇職員との連携に努めた。
- (4) 心理士にも生活場面に入ってもらうことで、個々の生活能力や心理状態を把握した上、ソーシャルスキルトレーニングを行いながらコミュニケーションにおけるスキルや集団生活における適応力を身に付けた。

#### 7 防災、事故防止に関すること

「愛のさと梅坪」との連携の中で、火災、地震等の災害に対する予防と児童の安全を守り、更に事故防止に努めるために、

- (1) 消防計画に基づき、防火管理、地震防災についての防災教育及び訓練を毎月 1 回実施。通報、避難、消火訓練については、年 1 回実施した。  
「愛のさと梅坪」と合同での実施は、コロナ禍のため中止した。
- (2) 年に 1 回防災に特化した地域交流事業を実施する。(コロナ禍で中止)
- (3) 生活場面での安全対策を講じ、事故防止に努めた。
- (4) 遊具等の安全管理及び事故防止に努めた。
- (5) 登下校、外出時等の事故防止及び不審者対応に努めた。
- (6) 災害時における地域住民を含んだ協力体制を敷き (H25 年度豊田市と協定締結)、備品の確保や訓練を通して非常時に備えた。
- (7) 職員の危機管理意識の向上を図った。

- (8) 積極的に防火管理者講習を受講する。(コロナ禍で中止)

※防火管理者が BCP 研修を受講

## 8 家庭支援に関すること

家庭支援専門相談員を配置し、家族との調整を行い、家庭復帰支援を推進するために、

- (1) 親指導については、児童相談センターと連携する中で実施した。
- (2) 保護者会、面会、家庭訪問等を通じ、家庭支援を積極的に推進した。  
保護者会については、全体会を中止し、個別に実施。面会についてはオンライン面会を導入して実施した。
- (3) 面会、帰省等を積極的に行い、親子の絆をより深める場とした。
- (4) 園行事、学校行事等への積極的参加を呼びかけた。
- (5) 帰省できない児童に対しては、里親ボランティアを活用し、一般家庭における生活体験することにより自立支援に繋げた。  
(対象児童 10 名の内、職員宅 4 名、里親ボランティア宅 6 名、延 23 日)
- (6) 家庭復帰が望めない児童に対しては、里親委託の推進を図った。  
(委託調整中 1 名)
- (7) 個人情報公開についての委任状を取った。

## 9 里親支援に関すること

里親支援専門相談員を配置し、入所児童の里親委託を推進し、委託後のアフターケアに努め、また、地域における里親支援を実施していくために、

- (1) 里親啓発を行い、新規開拓につなげた。  
(体験発表会・啓発など延べ 4 回)
- (2) 里親候補者を週末里親等につなげた。(対象 6 名)
- (3) 里親への研修に携わった。(延べ 10 回)
- (4) 里親家庭への訪問及び電話相談に応じた。(延べ 95 回)
- (5) レスパイト・ケアの調整をした。(延べ 12 回)
- (6) 里親サロンの運営に協力した。(延べ 27 回)
- (7) 里親会の活動への参加勧奨及び活動支援を行った。(延べ 8 回)
- (8) アフターケアとしての相談に応じた。(延べ 6 回)

## 10 全体で実施する運営や企画に関すること

- (1) ホーム単位の事業を予算化し、各ホームの高校生を主体にして立案、計画、実施していくなかで自立を推進した。
- (2) それぞれのイベントに関して、ただ与えられるだけではなく、自らが主体性を発揮し、積極的に参加することの意義と喜びを感じられるよう活躍の場を立案した。
- (3) 職員だけではなく、子どもとも統一見解・統一対応ができるようロールプレイや演劇部による動画配信によって共通認識を図った。

## 11 建物・設備等の整備

- (1) 新築より 15 年経過し老朽化が進んだことで、大規模修繕を実施した。

(2) 支援の充実、業務効率化等のため処遇管理ソフトを刷新した。

3 退所児童のアフターケアに関すること

- 1 退所児童の現況を把握し、状況に応じてアフターケアを実施し、自立支援に努めた。(対象児童 23 名、来園 70 回、訪問 6 回、電話 238 回)
- 2 職場、家庭等の訪問による支援及び来園時における支援を実施した。
- 3 退所児童支援施設「幸せの丘」を提供し、社会不適応行動を起こした児童に対して相談援助を実施する。(対象者なし)
- 4 退所児童のための同窓会を開き、近況報告を交えながら、困っていることがあれば支援につなげていく。(同窓会はコロナ禍で中止したが、スポーツ交流の場を設定し、そこで近況を報告しあった)

4 地域子育て支援及び地域との交流に関すること

- 1 子育て短期支援事業を受託した。(利用実績延べ 10 名、延べ 41 日)
- 2 地域の子ども会に所属し、地域交流を図る中で生活体験を豊かにした。
- 3 地域に開かれた施設を推進するために、地域交流事業を実施し、地域住民との相互交流を深める。(コロナ禍で中止)
- 4 施設機能を地域社会に提供し、地域に還元できるようコミュニティ計画の説明会を開催した。(高齢者クラブなど)
- 5 民生委員の視察研修を受入れ、施設の実態や機能を知っていただき、地域に発信していただく機会とする。(コロナ禍で中止)

5 職員の資質向上に関すること

- 1 人材育成に当たってはマニュアルの整備に努め、これを根拠とし、一貫性ある組織的な支援体制が図られるようにした。
- 2 梅ヶ丘方式の教本を指針とし、これをもとにホーム会議等で支援方針を協議した。
- 3 各種研修、セミナー等に参加し、そこで得たものを施設内に生かすことができるよう復命書にて周知したり、施設内研修にて発表した。
- 4 児童の処遇が一貫していくよう、また経験の浅い職員をフォローしていくよう、リーダーを機軸に、スーパーバイズ体制を確立した。
- 5 自らの職務、役割について意識し、能力や資質の向上並びにやりがいと目的をもって業務に携わることができるようキャリアパスを設定し、取り組んだ。(キャリアパス研修 2 名受講)
- 6 児童が最善の利益を享受できるよう、また職員が適切な自立支援を遂行していけるよう自己評価並びに子どもから職員に関するアンケートを実施し、評価を得る機会とした。(4 月と 10 月に計画を立て 9 月と 3 月に評価)
- 7 施設長と各職員とが個別面談を実施し、困り事や悩みごとの相談を受けたり、キャリアパスについて確認し、健康的にやりがいをもって業務に当たれるようにした。(全職員を対象に年 1 回)
- 8 11/19 に第三者評価を受審し、施設運営のあり方を点検し、処遇向上に役立てた。
- 9 日々の業務を処遇管理ソフトで見える化し、ルーティンワークにつなげたり、梅ヶ丘方式の定着を図った。

## 6 児童の権利擁護に関すること

- 1 ホーム会議で児童の最善の利益について評価し、適切な処遇に努めた。
- 2 懲戒権の濫用を禁止し、懲戒についてはホーム会議で確認した。
- 3 被措置児童虐待など人権侵害にあたる全ての不適切な行為を根絶するように努めた。(4月に研修を行い、子どもに毎月聴き取り調査を実施した)
- 4 子どもの権利ノートで権利の説明を行い、児相の協力でミニレターの説明会を開催した。
- 5 ルールブックを挿絵やマンガなどを用いて理解が深まるよう工夫した。

## 7 実習・ボランティアに関すること

- 1 社会福祉士援助技術現場実習の受入 (6校 15名)
- 2 保育士実習の受入 (17校 97名)
- 3 教員免許特例法による介護体験等の受入 (4校 12名)
- 4 養育里親登録に伴う実習の受入 (7家庭 11名)
- 5 中高生に対するボランティア体験学習の受入 (1校 1名)
- 6 学習、行事手伝い、環境整備、理美容等ボランティアの受入  
(延べ個人 178名)
  - ・学習指導 (延 35名)
  - ・行事手伝い (コロナ禍のため中止)
  - ・環境整備 (延 65名)
  - ・ベルマーク整理 (延 30名)
  - ・理美容 (延 39名)
  - ・子どもとのふれあい (コロナ禍のため中止)
  - ・サッカー交流(9名)
- 7 守秘義務の誓約書を取った。

## 8 職員関係

### 1 職員配置状況 (令4和年3月31日在籍職員)

| 区分  | 施設長 | 事務員 | 指導員等 | 保育士 | 看護師 | 心理士 | 栄養士 | 調理員 | 清掃員等 | 嘱託医 | 計  |
|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|----|
| 常勤  | 1   | 1   | 7    | 12  | 1   | 1   | 1   | 3   | 0    | 0   | 27 |
| 非常勤 | 0   | 0   | 1    | 4   | 0   | 0   | 0   | 1   | 6    | 1   | 13 |
| 計   | 1   | 1   | 8    | 16  | 1   | 1   | 1   | 4   | 6    | 1   | 40 |

### 2 会議

- (1) 職員会議 月1回
- (2) 運営会議 月1回
- (3) ホーム会議 (ケース検討) 月1回 (各ホーム毎)
- (4) 防災会議 年5回
- (5) 愛のさと梅坪との連絡調整会議 コロナ禍で中止
- (6) 給食会議 月1回

## (7) 厨房会議

年 2 回

## 3 研修関係

## (1) 園内研修

| 実施日    | 受講者    | 内 容   |
|--------|--------|---|
| 4月25日  | 職員 27名 | 「懲戒権乱用と被措置児童虐待について」   |
| 5月25日  | 職員 27名 | 「セクハラ・パワハラについて」<br>「セラピーと心理的なアセスメント」                          |
| 6月25日  | 職員 27名 | 「子どもを不適切対応から守るための仕組み」<br>「感染症対策について」                          |
| 7月20日  | 職員 27名 | 「退所児童支援とは～アフターケアの報告と課題～」<br>「服薬している子どもに体調異常が表れた時の梅ヶ丘職員対応について」 |
| 9月22日  | 職員 27名 | 「虐待並びに不適切な関りとは何を指すか」  |
| 10月25日 | 職員 28名 | 「被措置児童虐待等事例」<br>「権利擁護」<br>「里親委託の現状」                           |
| 11月10日 | 職員 26名 | 外部「児童養護施設入所児童の理解と対応」<br>講師：築山高彦（岡崎女子短期大学特任教授）                 |
| 11月25日 | 職員 26名 | 「第三者評価受審事業所事前研修」  |
| 12月23日 | 職員 28名 | 「入所児への理解」   |
| 1月25日  | 職員 26名 | 「応援職員を呼ぶにあたって」<br>「新システム導入について」                               |
| 2月25日  | 職員 27名 | 「褒めることができる支援者になるために」<br>「適切に論ず、叱ることができる支援者になるために」             |
| 3月17日  | 職員 27名 | 外部「事例検討会」<br>講師：後藤 秀爾（元愛知淑徳大学心理学部教授）                          |

## (2) 園外研修

| 名 称 等                  | 参加者数 | 参 加 職 種       |
|------------------------|------|---------------|
| 施設長会新任職員研修会（オンライン）     | 2名   | 保育士、指導員       |
| 令和3年度第1回性的問題について考える会   | 1名   | 保育士           |
| 愛知県施設長会子ども支援部会・食育部会研修  | 1名   | 栄養士           |
| SBI 中堅研修               | 1名   | 心理士           |
| 令和3年度第3回こども支援部会研修      | 1名   | 指導員           |
| 福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程（中堅） | 2名   | 保育士           |
| 「子どもたちに安心・安全な暮らしを」     | 1名   | 保育士           |
| WEB研修                  |      |               |
| 全国児童福祉施設安全委員会研修        | 3名   | 基幹的職員・指導員・心理士 |
| 中部児童養護施設協議会指導職員研修      | 1名   | 基幹的職員         |
| 令和3年度第2回性的問題について考え会    | 1名   | 保育士           |
| 令和3年度BCP作成セミナー         | 1名   | 心理士           |

|                                    |    |             |
|------------------------------------|----|-------------|
| 令和3年度特別部会研修                        |    | 指導員         |
| 令和3年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修             | 1名 | 施設長         |
| 令和3年度地域共生社会推進セミナー                  | 1名 | 事務員         |
| 令和3年度西三河児童福祉施設長会研修                 | 1名 | 保育士         |
| 令和3年度児童虐待対応研修                      | 1名 | 保育士         |
| ことばキャンプ                            |    | 保育士         |
| 令和3年度第2回名古屋市児童虐待防止研修               | 1名 | 保育士         |
| 令和3年度全国児童養護施設中堅職員研修会               | 3名 | 指導員・心理士・栄養士 |
| 令和3年度県社協児童ホーム部会職員研修会               | 1名 | 指導員         |
| フォスタリング機関職員研修                      | 1名 | 里親支援専門員     |
| ボリヴェーガル理論を踏まえた相談者になるためのトレーニングセッション | 1名 | 里親支援専門員     |

### 3 福利厚生

- (1) 健康診断
- (2) ソウエルクラブの継続加入

## 9 入所児の状況（令和4年3月31日在籍児童）

### 1 就学等の状況

| 区分 | 未就園 | 幼稚園 | 小学校 |    |    |    |    |    |    | 中学校 |    |    |    | 高校 |    |    |    | 合計 |
|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|    |     |     | 1年  | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 小計 | 1年  | 2年 | 3年 | 小計 | 1年 | 2年 | 3年 | 小計 |    |
| 男  | 1   | 2   | 2   | 0  | 1  | 1  | 2  | 3  | 9  | 3   | 5  | 2  | 10 | 2  | 3  | 0  | 5  | 27 |
| 女  | 2   | 7   | 0   | 5  | 0  | 0  | 2  | 1  | 8  | 1   | 0  | 1  | 2  | 1  | 1  | 0  | 2  | 21 |
| 計  | 3   | 9   | 2   | 5  | 1  | 1  | 4  | 4  | 17 | 4   | 5  | 3  | 12 | 3  | 4  | 0  | 7  | 48 |

### 2 在園期間の状況

| 区分 | 1年未満 | 1年以上<br>3年未満 | 3年以上<br>5年未満 | 5年以上<br>10年未満 | 10年以上<br>15年未満 | 15年以上 | 合計 |
|----|------|--------------|--------------|---------------|----------------|-------|----|
| 男  | 5    | 7            | 3            | 6             | 5              | 1     | 27 |
| 女  | 4    | 6            | 7            | 4             | 0              | 0     | 21 |
| 計  | 9    | 13           | 10           | 10            | 5              | 1     | 48 |

### 3 入退所の状況（令和3年4月～令和4年3月）

| 区分      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 入所数     | 1  | 0  | 1  | 1  | 2  | 0  | 1   | 0   | 2   | 0  | 0  | 0  | 8  |
| 退所数     | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1   | 0   | 0   | 1  | 0  | 7  | 10 |
| 末日在籍児童数 | 50 | 50 | 51 | 52 | 54 | 54 | 54  | 54  | 56  | 55 | 55 | 48 |    |

### 4 入所前の状況（令和3年度入所児童 名の内訳）



| 区分 | 家庭   | 施設  |        |      |      | 里親 | その他 | 合計   |
|----|------|-----|--------|------|------|----|-----|------|
|    |      | 乳児院 | 児童養護施設 | 情短施設 | その他  |    |     |      |
| 男  | 2(1) | 1   | 0      | 1    | 1(1) | 0  | 0   | 5(2) |
| 女  | 1(1) | 1   | 0      | 0    | 0    | 1  | 0   | 3(1) |
| 計  | 3(2) | 2   | 0      | 1    | 1(1) | 1  | 0   | 8(3) |

( ) は被虐待児童再掲

### 5 退所先の状況（令和3年度退所児童 名の内訳）

| 区分 | 家庭   | 就職   | 進学 | 施設   |    |      |       | 里親 | 合計    |
|----|------|------|----|------|----|------|-------|----|-------|
|    |      |      |    | 児童養護 | 情短 | 自立支援 | 障害者支援 |    |       |
| 男  | 2(1) | 3(2) | 1  | 0    | 0  | 0    | 1(1)  | 0  | 7(4)  |
| 女  | 2(1) | 1    | 0  | 0    | 0  | 0    | 0     | 0  | 3(1)  |
| 計  | 4(2) | 4(2) | 1  | 0    | 0  | 0    | 1(1)  | 0  | 10(5) |

( ) は被虐待児童

### 6 出身地別の状況

| 児相名 | 豊田加茂 | 西三河 | 刈谷 | 中央 | 春日井 | 一宮 | 海部 | 東三河 | 知多 | その他 | 合計 |
|-----|------|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|-----|----|
| 人数  | 18   | 5   | 15 | 4  | 1   | 0  | 1  | 2   | 1  | 1   | 48 |

### 7 疾病による通院等状況（令和3年度在籍児童－延日数）

| 区分 | 内科・小児科 | 精神・心理 | 外科・整形 | 耳鼻咽喉 | 皮膚  | 眼科 | 歯科 | 婦人科 | 泌尿器 | 合計   |
|----|--------|-------|-------|------|-----|----|----|-----|-----|------|
| 通院 | 1168   | 49    | 43    | 342  | 132 | 59 | 32 | 2   | 0   | 1827 |
| 入院 | 0      | 0     |       | 0    | 0   | 0  | 0  | 0   | 0   | 0    |

### 8 入所児童の保護者状況

| 区分 | 両親有 | 父のみ | 母のみ | 両親無 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|----|
| 男  | 10  | 6   | 9   | 2   | 27 |
| 女  | 4   | 6   | 11  | 0   | 21 |
| 計  | 14  | 12  | 20  | 2   | 48 |

### 9 保護者等面会の状況※令和3年度在籍児童 48名（面会無の児童 32名）

| 区分    | 父・母親 | 祖父母 | 伯・叔父母 | 兄弟姉妹 | ボランティア里親 | 合計 |
|-------|------|-----|-------|------|----------|----|
| 1～2回  | 10   | 1   | 0     | 1    | 0        | 12 |
| 3～5回  | 2    | 0   | 0     | 1    | 0        | 3  |
| 6～9回  | 2    | 0   | 0     | 0    | 0        | 2  |
| 10回以上 | 1    | 0   | 0     | 0    | 0        | 1  |
| 計     | 15   | 1   | 0     | 2    | 0        | 18 |

重複有り

10 保護者等外出帰省の状況※令和3年度在籍児童48名

(外出帰省無の児童16名)

| 区分    | 父・母親 | 祖父母 | 伯・叔父母 | 兄弟姉妹 | ボランティア里親 | 合計 |
|-------|------|-----|-------|------|----------|----|
| 1～2回  | 7    | 1   | 0     | 1    | 9        | 18 |
| 3～5回  | 4    | 1   | 0     | 0    | 0        | 5  |
| 6～9回  | 4    | 0   | 0     | 0    | 2        | 6  |
| 10回以上 | 3    | 0   | 0     | 0    | 0        | 3  |
| 計     | 18   | 2   | 0     | 1    | 11       | 32 |

11 児童の入所理由

| 区分 | 親の死亡 |   | 離婚 | 親の疾病 |     | 虐待  |    |       |     | 経済的 | 親の拘禁 | その他 | 合計 |
|----|------|---|----|------|-----|-----|----|-------|-----|-----|------|-----|----|
|    | 父    | 母 |    | 精神病  | その他 | 身体的 | 性的 | ネグレクト | 心理的 |     |      |     |    |
| 男  |      | 2 | 1  | 2    |     | 8   |    | 4     |     | 4   | 1    | 5   | 27 |
| 女  |      |   |    | 1    |     | 5   | 1  | 2     | 2   | 5   | 1    | 4   | 21 |
| 計  | 2    |   | 1  | 3    |     | 22  |    |       |     | 9   | 2    | 9   | 48 |

12 児童の問題別状況

| 情緒・行動上の問題 |    | 身体虚弱の問題   |    |                       |     |
|-----------|----|-----------|----|-----------------------|-----|
| 不眠        | 7  | 喘息        | 38 | アレルギー性鼻炎              | 38  |
| 暴力        | 13 | 熱発・風邪症状   | 47 | 鼻水・鼻血・副鼻腔炎            | 14  |
| 夜尿 ※5歳以上  | 4  | RSウイルス    | 6  | 中耳炎・耳の痛み等             | 13  |
| 登校拒否      | 2  | 胃腸風邪・腹痛   | 4  | 虫歯・歯石・歯肉炎             | 5   |
| 性的逸脱行為    | 7  | 便秘        | 7  | 歯列・咬合不正               | 10  |
| 計         | 33 | 鉄欠乏性貧血    | 1  | アトピー性皮膚炎              | 3   |
| 発達上の問題    |    | 溶連菌感染症    | 1  | 皮膚科疾患<br>(あせも・イボ・ニキビ) | 29  |
| 知的な遅れ     | 9  | 新型コロナウイルス | 1  | とびひ                   | 2   |
| 自閉症       | 2  | 視力異常      | 21 | 整形系疾患                 | 16  |
| ADHD      | 3  | 眼科系疾患     | 22 | 骨折後の受診<br>(在宅時の受傷)    | 2   |
| 愛着障害      | 4  | 色覚異常      | 1  | 縫合処置等実施創              | 4   |
| 計         | 18 | 計         |    | 計                     | 285 |

※在籍児童48名中、重複しての状況

### 13 月別実施事業

| 月   | 行 事 名  | 備 考                                 |
|-----|--|-------------------------------------|
| 4   | ・お花見会  |                                     |
| 5   | ・畑体験（サツマイモの植え付け）<br>・いちご狩り招待   | 夏野菜                                 |
| 6   | ・畑体験（ジャガイモ収穫）<br>・梅狩り招待<br>・田植え  | 秋野菜<br>幸田町                          |
| 7   | ・七夕会<br>・川遊び招待<br>・流しそうめん<br>・ソフト練習試合  | 御船町<br>元山会協力あり                      |
| 8   | ・保護者会<br>・プール招待<br>・夏祭り<br>・夏期家庭療育<br>・児童福祉施設夏期球技大会                          | 個別<br>フォレスタヒルズ<br><br>お盆帰省<br>卓球    |
| 9   | ・稲刈り   |                                     |
| 10  | ・漢字検定<br>・防災レク広場（地域交流行事）   |                                     |
| 11  | ・児童福祉施設夏期球技大会<br>・県児童福祉施設音楽の集い<br>・七五三招待<br>・合同避難訓練（中止）<br>・収穫バーベキュー         | ソフトボール<br>DVD 鑑賞<br>拳母神社<br>コロナ禍のため |
| 12  | ・サッカー交流大会<br>・児童福祉施設フットサル大会<br>・餅つき<br>・クリスマス会<br>・年末大掃除<br>・保護者会<br>・冬期家庭療育 | ボランティア<br><br>個別<br>年末年始帰省          |
| 1   | ・新年式<br>・バスケ招待   |                                     |
| 2   | ・園内マラソン大会<br>・節分   |                                     |
| 3   | ・ひな祭り<br>・高校卒業記念旅行（中止）<br>・卒業お祝い会<br>・畑体験（ジャガイモの種芋植え・畝づくり）                   | コロナ禍のため<br>小,中,高の卒業(卒園)を祝う          |
| その他 | ・避難訓練(月 1 回)      ・健康診断(月 1 回)<br>・ホーム行事（随時）      ・自治区行事への参加                 | ・招待による観劇等(随時)                       |

### 9 法人・各施設への協力

- 1 法人の運営、事業および各施設への協力を積極的に行った。